

大学生を対象にした就職等に関する意識調査 中間報告

1. 目的

本県における人口の社会減の大きな要因の1つは大学卒業・就職を契機とした若者の転出であり、若者の県内定着に向けた施策の展開が重要になっている。本調査は、大学生が抱えている卒業後の展望や意識を把握することにより、定着に向けた施策の立案に資することを目的として実施したものである。

2. 調査の概要

- ・調査期間 平成28年4月～平成28年8月
- ・調査対象 県立大学、関西学院大学、神戸学院大学の学生 各100名 計300名を調査
1回生80人、2回生107人、3回生106人、4回生以上7人 有効回答数100%
(うち県外出身者149名、県内出身者151名)
- ・調査手法 直接配付の上、回収
- ・調査内容 大学卒業後の居住地、就職に関する意向等

3. 調査結果

Q1. 大学卒業後の居住地についての希望をお聞かせ下さい。

(N=261)

	総計	県内	全国どこでも	大阪府内	首都圏	その他の地域	その他近畿圏
県内出身者	137	73(53.3%)	25(18.2%)	15(10.9%)	16(11.7%)	2(1.5%)	6(4.4%)
県外出身者	124	16(12.9%)	28(22.6%)	33(26.6%)	19(15.3%)	20(16.1%)	8(6.5%)
総計	261	89(34.1%)	53(20.3%)	48(18.4%)	35(13.4%)	22(8.4%)	14(5.4%)

- ・県内出身者で大学卒業後も引き続き兵庫県での居住を希望している学生が53.3% (73名)に対し、県外出身の学生はわずか12.9% (16名)にとどまり、県外出身者の大半が県外志向となっている。

Q2. Q1でその地域を選んだ理由は何ですか (1位のみを集計)

(N=235)

総計	出身地のため	希望する就職先があるため	都会であるため	その地域に憧れがあるため	大学周辺の環境が気に入り、引き続き居住したいため	その地域にゆかりがあるため	その地域に貢献したいため	都会でもなく田舎でもなく住みやすそうであるため	友人等がその地域にいるため	親戚等親族がその地域にいるため	自然が豊かで、のどかであるため
県内出身者	129	64(49.6%)	14(10.9%)	11(8.5%)	9(7.0%)	1(0.8%)	3(2.3%)	8(6.2%)	8(6.2%)	4(3.1%)	3(2.3%)
県外出身者	110	34(30.9%)	24(21.8%)	13(11.8%)	5(4.5%)	11(10.0%)	9(8.2%)	3(2.7%)	2(1.8%)	5(4.5%)	4(3.6%)
総計	235	98(41.7%)	38(16.2%)	24(10.2%)	14(5.6%)	12(5.1%)	12(5.1%)	11(4.7%)	10(4.3%)	9(3.8%)	4(1.7%)

- ・県外出身の学生は県内出身の学生と比較して、出身地で卒業後の居住地を選ぶ学生の割合が少なく(県内出身者49.6%>県外出身者30.9%)、希望する就職先の有無(県内出身者10.9%<県外出身者21.8%)などを比較的重視していることが読み取れる。
- ・Q1において「卒業後は兵庫県内での居住を希望する」と回答した県外出身者の中では(N=16)「大学周辺の環境が気に入り引き続き居住したいため」が37.5%と最も高くなっている。
- ・Q1で「首都圏での居住を希望する」と回答した学生(N=35)のほとんどが、その理由に「希望する就職先があるため(34.2%)」、「都会であるため(34.2%)」のいずれかをあげている。

(N=51)

総計	出身地のため	希望する就職先があるため	都会であるため	その地域に憧れがあるため	大学周辺の環境が気に入り、引き続き居住したいため	その地域にゆかりがあるため	その地域に貢献したいため	都会でもなく田舎でもなく住みやすそうであるため	友人等がその地域にいるため
県外出身者かつ卒業後県内へ居住	16	2(12.5%)	2(12.5%)	1(6.3%)	2(12.5%)	6(37.5%)	1(6.3%)	1(6.3%)	
卒業後首都圏へ居住	35	1(2.9%)	12(34.3%)	12(34.3%)	3(8.6%)	1(2.9%)	1(2.9%)	2(5.7%)	1(2.9%)

※上位9項目のみ抜粋

Q3. あなたは、大学、大学院を卒業後どのような業界に就職したいですか。

(N=124)

	総計	官公庁・ 公社・団 体	製造業 (メーカー)	銀行・証 券・保険	旅行・ホ テル	マスコミ・出 版・印刷	医薬品・医 療機器・医 療関連	弁護士・ 会計士な ど士業	建設・不 動産・住 宅	まだ分か らない
卒業後県内へ居住	89	12(13.5%)	9(10.1%)	6(6.7%)	6(6.7%)		8(9.0%)	5(5.6%)	2(2.2%)	25(28.1%)
うち県内出身	73	9	8	4	6		6	5	2	20
うち県外出身	16	3	1	2			2			5
卒業後首都圏へ居住	35		3(8.6%)	5(14.3%)	3(8.6%)	9(25.7%)	1(2.9%)	2(5.7%)		4(11.4%)
うち県内出身	16		2	2	1	5	1	1		3
うち県外出身	19		1	3	2	4		1		1
計	124	12(9.7%)	12(9.7%)	11(8.9%)	9(7.3%)	9(7.3%)	9(7.3%)	10(8.1%)	2(1.6%)	29(23.4%)

※Q1で県内、首都圏と回答した者のみを抜粋
※上位9項目まで掲載

- ・Q1で「卒業後に首都圏での居住を希望する」を選んだ学生(N=35)のうち、「まだ分からない」を選択した者は少数(11.4%)にとどまっており、既に卒業後の具体的なビジョンを持っている者が多いといえる。
- ・Q1で「卒業後に兵庫県内への居住を希望する」を選んだ学生(N=89)のなかでは「まだ分からない」(28.1%)、を選択した者が多い。これは、漠然と兵庫県内に住みたいという思いはあるものの、兵庫県内の企業を認知しておらず、具体的なイメージが湧いていないため、このような回答が増えたものと推察される。

Q4. あなたが就職先を選ぶ上での優先順位を教えてください。(1位のみを集計)

(N=256)

	総計	安定して いる	やりたい 仕事ので きる	給与・待 遇がよい	将来性が ある	職場内の 人間関係 がよい	自分の知 識や能力 を生かせ る	社会のた めになる 仕事ので きる	働いてい る人が魅 力的であ る	仕事と家 庭の両立 制度があ る
県内出身者	135	32(23.7%)	29(21.5%)	10(7.4%)	15(11.1%)	14(10.4%)	5(3.7%)	5(3.7%)	6(4.4%)	4(3.0%)
県外出身者	121	31(25.2%)	25(20.3%)	18(14.6%)	7(5.7%)	6(4.9%)	10(8.1%)	9(7.3%)	4(3.3%)	2(1.7%)
総計	256	63(24.6%)	54(21.1%)	28(10.9%)	22(8.6%)	20(7.8%)	15(5.9%)	14(5.5%)	10(3.9%)	6

※上位9項目のみ抜粋して掲載

- ・県内出身者は県外出身者と比較して「将来性がある」、「職場の人間関係がよい」の項目の割合が高く、「給与・待遇が良い」、「自分の知識や能力を生かせる」の項目割合で低いなど、差がみられた。

(N=124)

	総計	安定して いる	やりたい 仕事ので きる	給与・待 遇がよい	将来性が ある	職場内の 人間関係 がよい	自分の知 識や能力 を生かせ る	社会のた めになる 仕事ので きる	働いてい る人が魅 力的であ る	仕事と家 庭の両立 制度があ る
卒業後県内へ居住	89	26(29.2%)	16(18.0%)	6(6.7%)	8(9.0%)	9(10.1%)	2(2.2%)	5(5.6%)	2(2.2%)	5(5.6%)
卒業後首都圏へ居住	35	4(11.4%)	8(22.9%)	3(8.6%)	2(5.7%)		4(11.4%)	2(5.7%)	4(11.4%)	

※上位9項目のみ抜粋して掲載

- ・Q1で「兵庫県内への居住を希望する」を選択した学生(N=89)のうち、29.2%は「安定している」を選択したのに対し、Q1で「首都圏への居住を希望する」を選択した学生(N=35)は11.4%にとどまり、大きな差が生じている。

～総括～

- ・少数ながらも、県外出身の大学生の12.9%が卒業後も兵庫県に居住したいと考えている。その多くが大学周辺の居住環境に魅力を感じていることや、地域とのかかわりを理由としている。このことから、学生時代に体験教育などで地域とふれあう機会を持つことが、定着につながるのではないかと考えられる。
- ・県内出身の大学生の半数以上が卒業後も引き続き兵庫県での生活を望んでいるが、就職先などの具体的なイメージが湧いていない学生が多く、兵庫の魅力的な企業の紹介など、そのギャップを埋める施策が求められている。